日高川町

和佐小学校区
庵ノ谷池・中津川谷池・栗屋谷池
ハザードマップ

MAP
MAP
自主防災

ため池ハザードマップとは？

ため池ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。

また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。

◎緊急時の連絡先

日高川町役場	0738−22−1700	【上下水道】日高川上下水道課	0738−22−1700
日高広域消防本部	0738−63−1119	NTT	113
御坊警察署	0738−23−0110	NTT（携帯·PHS からの連絡先）	0120−444−113
【電気】関西電力（株）御坊営業所	0800−777−8073		

◎最新の情報はこちらから

日高川町ホームページ	http://www.town.hidakagawa.lg.jp/
防災わかやま	http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html
気象庁　和歌山地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/wakayama/

【目　次】

1　わが家の避難所・避難経路
2　避難時の心得
3　平常時の心得
4　非常時持ち出し品
5　避難に関する情報
6　大雨・洪水に関する情報
7　地震に関する情報
8　もしも、ため池の堤防が壊れたら
9　はん濫水の到達時間

1　わが家の避難所・避難経路

◎わが家の防災メモ

わが家の避難所	
家族の集合場所	
緊急時の連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	既往症	携帯電話 / 会社・学校の連絡先

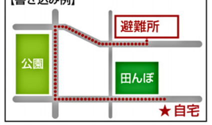
メモ

◎わが家の避難経路

ハザードマップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。

実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

【書き込み例】



▶▶▶ 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音　171 ＋ 1 ＋ 自分の電話番号（市外局番から） → 録音

伝言の再生　171 ＋ 2 ＋ 相手の電話番号（市外局番から） → 再生

2　避難時の心得

大雨時　水の中の移動はとても危険です。はん濫した水の中を歩かなくてすむよう早目の避難を心がけてください。
やむを得ない場合、次の点に注意して安全に避難してください。

心得その1　歩ける深さ

水深は浅くても流れがあると危険です。
危険と判断した場合は無理せず、高所で救援を待ちましょう。

心得その2　足下に注意

水面下にはどんな危険が潜んでいるのかわかりません。
長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩きましょう。

心得その3　はき物

裸足・長靴は禁物です。
ひもで締められる運動靴にしましょう。

心得その4　子どもやお年寄りを安全に

お年寄りや病人などは背負い、幼児は浮き袋を付けたりして安全を確保しましょう。

心得その5　ロープでつながって

はぐれないようにお互いの体をロープで結び、一列になって避難しましょう。
特にお年寄りや子どもから目を離きないようにしてください。

地震時　緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、
次の点に注意して安全に避難してください。

緊急地震速報のリーフレットより

心得その1　家庭では

- ●頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。
- ●あわてて外へ飛び出さない。
- ●むりに火を消そうとしない。

心得その2　自動車運転中は

- ●急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす。
- ●ハザードランプを点灯しまわりの車に注意をうながす。

心得その3　鉄道・バスでは

- ●つり革、手すりにしっかりつかまる。

心得その4　屋外(街)では

- ●ブロック塀の倒壊に注意。
- ●看板や割れたガラスの落下に注意。

心得その5　エレベーターでは

- ●最寄りの階に停止させすぐにおりる。

3　平常時の心得

市民のみなさんの大切な命や財産を守るためには、行政による「公助」だけでなく、みなさんの「自助」、「共助」により地域の防災力を高めておくことが重要です。

自助　自分の身は自分で守る

●家族会議
家族の役割分担、避難所の確認、家族間の連絡方法などを確認しましょう。

●わが家の安全点検
家屋の耐震化、家具の固定、ガラスの飛散防止などをして身近な空間の安全確保をしましょう。

●備蓄品・持ち出し品のチェック
避難時に持ち出す非常時持ち出し品、救援活動が受けられるまでの備蓄品を家族構成に合わせて用意しておきましょう。

共助　自分のたちのまちは自分たちで守る

●自主防災組織
防災訓練などに積極的に参加し、地域のみなさんが互いに連携・協力できる体制を強化しましょう。

●防災まち歩き
地域の中の危険な場所を知り、地図に書き込むとともに、地域住民に周知し、地域の防災力を強化しましょう。

●災害時要援護者に心づかいを
高齢者や妊婦、体の不自由な人など災害時に支援が必要な人がどこにいるのかを把握し、地域ぐるみで助け合いましょう。

4　非常時持ち出し品

災害に備えて非常持出品を準備しましょう。確認したら ☑ を入れましょう。

☐ 避難用品

- ☐ ヘルメット
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 雨ガッパ
- ☐ 軍手
- ☐ 笛　など

☐ 情報機器

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 携帯電話
- ☐ 充電器　など

☐ 貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 健康保険証
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 家族の写真　など

☐ 救急セット

- ☐ キズ薬
- ☐ ばんそうこう
- ☐ 包帯
- ☐ はさみ　など

☐ 非常食

- ☐ 水
- ☐ 乾パン
- ☐ 缶詰め　など

☐ 生活用品

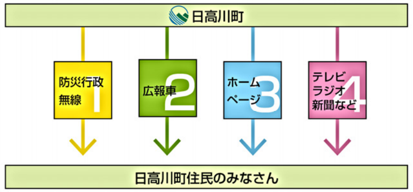
- ☐ 衣類
- ☐ タオル
- ☐ 缶切り
- ☐ ナイフ
- ☐ 予備電池　など

このリストの他にも、ご家族に乳幼児、妊婦、要介護者がいる場合、おむつ、母子手帳や常備薬(薬を常時服用している方は処方せんのコピーもお忘れなく)などが必要です。ご家族で話し合って、必要なものを準備しましょう。

5　避難に関する情報

◎避難指示などの伝達方法

避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます



1. 町の防災行政無線などを利用して伝達します。
2. 広報車により伝達します。
3. 町ホームページにより伝達します。
4. テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関により伝達します。

◎避難の情報

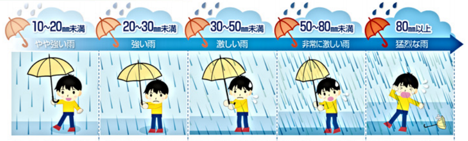
区 分	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が高まった状況。	●災害時要援護者など、特に避難行動に時間を要する者は、計画された避難所への避難行動開始（避難支援者は支援行動を開始）。 ●上記以外の者は、避難準備開始。
避難勧告	●通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階であり、災害の発生する可能性が明らかに高まった状況。	●通常の避難行動ができる者は、計画された避難所への避難行動開始。
避難指示	●前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、災害が発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●堤防の隣接地など、地域の特性などから人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。 ●災害が発生した状況。	●避難勧告などの発令後で避難中の住民は、直ちに避難行動を完了。 ●未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動。

6　大雨・洪水に関する情報

◎気象警報について

分類	用語	説明	基準（1 時間雨量）
大雨 洪水	特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
	警報	大雨による重大な災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の増水やはん濫などによる重大な災害が予想された場合	100mm
	注意報	大雨による災害が発生すると予想された場合 大雨などにより河川の増水やはん濫などによる災害が予想された場合	70mm

◎1 時間の総雨量と雨の強さ



10~20mm未満 やや強い雨	20~30mm未満 強い雨	30~50mm未満 激しい雨	50~80mm未満 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
ザーザーと降る。地面一面に水たまりができる。長く続く時は注意が必要。	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい。	バケツをひっくりかえしたように降る。道路が川のようになる。	滝のように降る。水しぶきであたり一面が白くなり、視界が悪くなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる。

7　地震に関する情報

◎震度階級表

参考：気象庁震度階級関連解説表

震度4

- ●ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。
- ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。

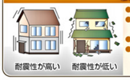
震度5弱

- ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
- ●電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強

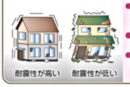
- ●大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
- ●棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。

震度6弱


耐震性が高い
耐震性が低い

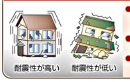
- ●立っていることが困難になる。
- ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- ●耐震性の低い木造建物は、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。

震度6強


耐震性が高い
耐震性が低い

- ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
- ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- ●耐震性の低い木造建物は、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。

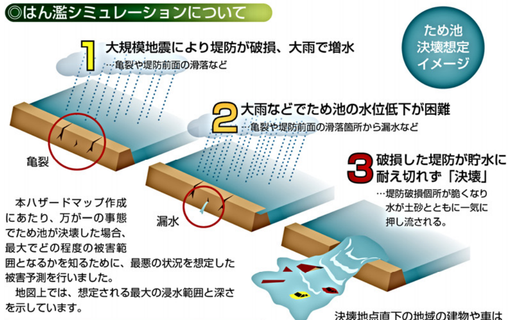
震度7


耐震性が高い
耐震性が低い

- ●立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。
- ●固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。
- ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

8　もしも、ため池の堤防が壊れたら

◎はん濫シミュレーションについて


ため池 決壊想定 イメージ
1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水
…亀裂や堤防前面の滑落など
亀裂
2 大雨などでため池の水位低下が困難
…亀裂や堤防前面の滑落箇所から漏水など
漏水
3 破損した堤防が貯水に耐え切れず「決壊」
…堤防破損個所が脆くなり水が土砂とともに一気に押し流される。

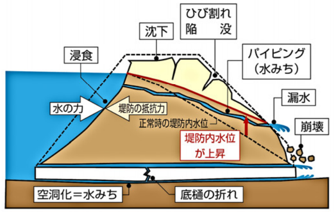
本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。

地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

緊急事態においては、ため池の水位を低下させるなど、決壊を防ぐための処置を行います。ただし、想像以上の大災害が発生した場合、いつどのような状況でため池が決壊してしまうかは不明のため、最悪の状況を想定しています。

◎こんなとき、ため池が危ない!!



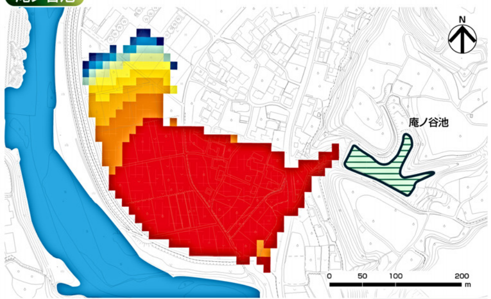
大雨時
- ●急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- ●漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- ●堤体が陥没し、漏水が生じた場合

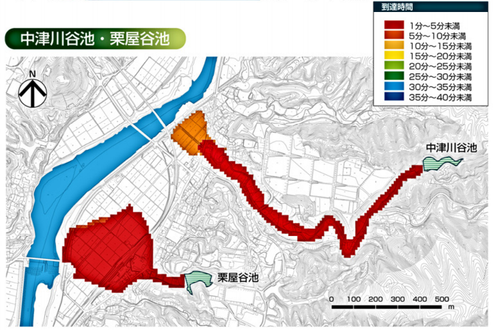
地震時（震度４以上）
- ●堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

9　はん濫水の到達時間

はん濫シミュレーション結果におけるはん濫水の到達時間を表現しました。
特に避難が必要な地区にお住まいの方は、ため池が決壊する前に早めの避難を行う必要があります。

庵ノ谷池



中津川谷池・栗屋谷池